

2022 年 12 月 2 日

各 位

オリックス・レンテック株式会社

新たに産業用ドローン 2 機種のリントルを開始 ～4 メーカー・7 機種にリントルラインアップを拡充～

オリックス・レンテック株式会社（本社：東京都品川区、社長：細川 展久）は、このたび、米国の Skydio 社製「Skydio 2+」および、日本の ACSL 社製「SOTEN（蒼天）」の産業用ドローンのリントルサービスを開始しますのでお知らせします。これらの 2 機種を追加した当社のリントルサービスラインアップは、合計 4 メーカー、7 機種になります。

「Skydio 2+」は、独自の Visual SLAM 技術※1 により、従来のドローンでは飛行が難しい屋内や橋の下など、非 GPS 環境下においても安定した飛行が可能です。また、機体上下に 6 つのカメラを搭載し、全方位の障害物を自動で回避する技術を備えています。



Skydio 2+

「SOTEN」は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が開発を推進し、ACSL 社が商品化した国産ドローンです※2。ISO15408※3 に基づき、データの漏洩や抜き取りの防止、機体の乗っ取りへの耐性を実現する、高セキュリティな機能を有します。また、2022 年 11 月 24 日、国土交通省の「申請書類の一部を省略することができる無人航空機」に追加され、飛行許可申請を行う際に提出書類の一部を省略することが可能です※4。



SOTEN

オリックス・レンテックは、2017 年よりドローンのリントルおよび各種サービスの提供を開始し、多種多様なニーズにお応えしてきました。今後も、最新技術の利用機会をお客さまへ提供することで、企業が抱えるさまざまな課題を解決してまいります。

※1 カメラから得られる映像データから、自分の位置や姿勢と周辺の物体の位置情報を三次元で把握する技術

※2 [安全安心なドローン基盤技術の取り組み成果が商品化に結実 | プレスリリース | NEDO](#)

※3 製品のセキュリティ評価基準として定められた規格

※4 [ACSL、セキュアな国産ドローン SOTEN（蒼天）が国土交通省の「申請書類の一部を省略することができる無人航空機」に追加・国産産業用ドローンの ACSL | 株式会社 ACSL](#)

以 上

<本サービスに関するお問い合わせ先>

オリックス・レンテック株式会社 ロボット・ドローン事業推進チーム
伊井・石井 TEL：03-3473-6205 E-mail：rentec.drone@orix.jp

<報道関係者からのお問い合わせ先>

オリックス株式会社 グループ広報・渉外部 武鑑 TEL：03-3435-3167

■各製品概要

製品名	Skydio 2+
メーカー	Skydio
サイズ(L×W×H) ^{※1}	229×274×126mm
重量 ^{※2}	800g
カメラ	SONY IMX577 4K 約 1,200 万画素
飛行時間	27 分
最大伝送距離 ^{※3}	1km
最大風圧抵抗	約 11m/s
動作温度範囲	-5～40℃

本体一式^{※4}のレンタル料金（10 日間）：87,600 円（税抜・送料別）

製品名	SOTEN
メーカー	A C S L
サイズ(L×W×H) ^{※5}	637×560×153mm
重量 ^{※6}	1,720g
標準カメラ	動画 4K 対応 静止画時 2,000 万画素
飛行時間 ^{※7}	25 分
最大伝送距離 ^{※8}	4km
最大対気速度	15m/s
動作環境温度	0～40℃

本体一式^{※4}のレンタル料金（10 日間）：146,000 円（税抜・送料別）

※1 バッテリー含む、アンテナを立てた状態

※2 バッテリー含む

※3 日本国内で使用する場合

※4 カメラ、バッテリー、送信機含む

※5 アーム展開時

※6 標準カメラおよびバッテリー含む

※7 標準カメラ搭載時、風速 8m/s 条件下

※8 障害物や電波干渉がない場合

■メンテナンス・レジリエンス OSAKA2022 への展示

オリックス・レンテックは、2022 年 12 月 7 日（水）～9 日（金）の期間、インテックス大阪（大阪市）で開催される「メンテナンス・レジリエンス OSAKA2022^{※9}」内の「第 48 回 プラントメンテナンスショー」に出展し、「Skydio 2+」「SOTEN」を展示します。

※9 [メンテナンス・レジリエンス OSAKA2022](#)